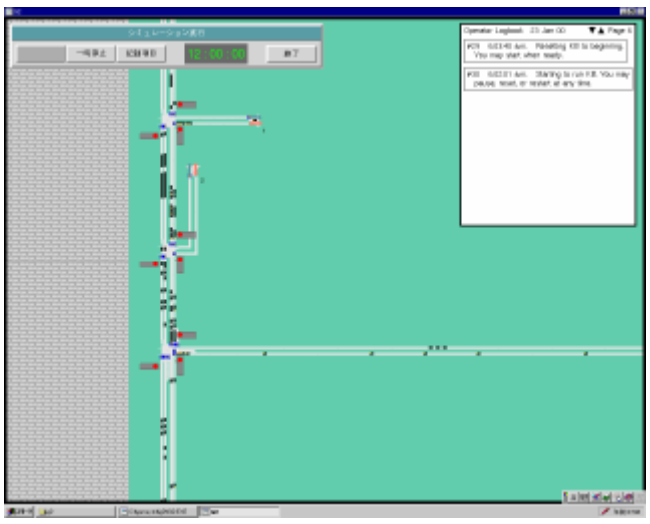
シミュレーションモデル適用事例シート

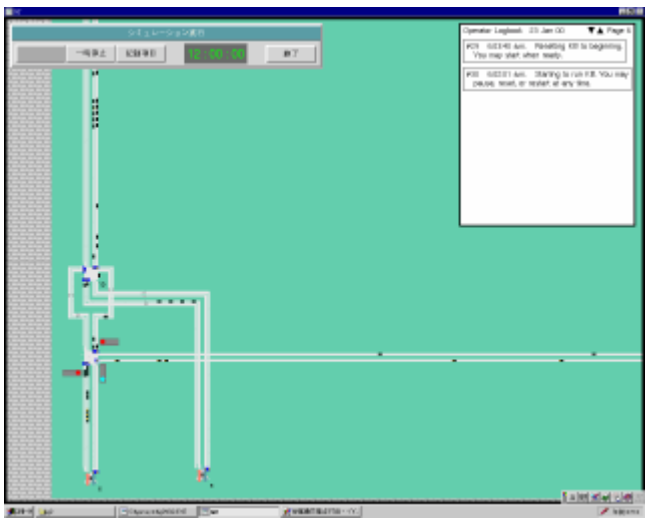
	大分類	交通運用	小分類	交通規制	シミュレーションモデル名	AVENUE

概要	適用事例名	沖縄サミット開催時の交通規制に伴う需要抑制策の効果予測
	目的・概要	沖縄サミット開催時は，各国 VIP の移動に伴い，特定路線を通行止めとする．その際，日常の交通需要がそのまま発生すれば，名護市南部の世冨慶交差点や許田交差点などで，大渋滞となることが予想されるため，事前の PR 活動などを通して，交通需要の抑止をはかることが必要となる．シミュレーションでは一定割合の道路利用者がトリップを中止したと仮定して，その際の各交差点での渋滞状況を予想した．
	本事例におけるモデル適用上の特徴	

対象範囲及びネットワーク	対象範囲	各交差点周辺の約 2km 四方			対象時間帯	朝ピーク時間帯(7:00～12:00)	
	評価対象時期	平成 11 年					
	対象道路網	一般街路ネットワーク					
	ネットワーク規模	ノード数		リンク数		起終点ノード数		総トリップ数
		一般街路ネットワーク		交差点数		信号交差点数	4	道路区間数
		自専道ネットワーク		分岐部数		出入口数		道路区間数
	特記事項						

（ネットワークの概略図面を添付） 左：世冨慶交差点，右：許田交差点





入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数
		合流部	
	信号制御	設定パラメータ	信号現示
		作成方法	実測値を入力
	交通需要	設定単位	OD 交通量
		作成方法	前年度実施の交差点交通量調査を元に作成．
		空間単位	端点から端点
		時間単位	15 分ごと
		車両属性区分	乗用車，大型車
	その他		

モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式,1秒／1スキャン
	パケットサイズ	1台／パケット
	経路選択原理	経路選択の必要なし
	特記事項	

再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率
		方法	断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整
	検証方法		断面交通量を用いた検証
	検証用データ取得方法		通常は混雑していない交差点のため，平均的な飽和交通流率を仮定した．

出力データ	各交差点での方面別渋滞長

記入者	所属機関・部署	(株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ						
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350			HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html

公表文献・資料等	